BUFFALO

フォーマット/メンテナンスガイド

< 注意 >

本書では、外付ハードディスク全般の説明しています。そのため、お使いの製品によっては、対応していない OS の記載があります。あらかじめご了承ください。

Q&A インターネットで弊社製品の Q&A 情報を入手できます。
http://buffalo.jp/qa/index.html

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク................. ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク......... 次へ に続くページは、次にどこのページへ進めばよいかを記しています。

文中の用語表記

・Windows 搭載パソコンの場合、本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
　C: ハードディスク　　　　　D:CD-ROM ドライブ

・「IEEE1394」、「i.LINK」、「FireWire」は同じインターフェースです。本書では、「i.LINK」と「FireWire」を「IEEE1394」表記しています。

・文中［　］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

・本書に記載されているハードディスク容量は、1GB ＝ 1000^3byte で計算しています。OS やアプリケーションでは、1GB ＝ 1024^3byte で計算されているため、表示される容量が異なります。

・本書では、Micrsoft Windows Millennium Edition を WindowsMe、Windows98 Second Edition を Windows98SE と表記しています。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

目次

1 フォーマット（初期化）

本製品をフォーマット（初期化）する方法を説明しています。

フォーマット（初期化）とは

ハードディスクをお使いのパソコンで使用できるようにする作業です。本製品は、出荷時にFAT32 形式でフォーマットされていますので、Windows や Mac OS X 10. 4 以降、Mac OS 9 でお使いになる場合は、そのままお使いいただくこともできます。

フォーマットの形式

フォーマットにはいくつかの形式があり、お使いの OS によって認識できる形式が異なります。本製品をフォーマットするときは、以下のいずれかの形式でフォーマットしてください。

⚠注意 **お買い求めいただいた製品によっては、フォーマットする形式を指定しているものがあります。製品に付属のマニュアルを参照して、最適な形式でフォーマットしてください。**

《NTFS 形式》
Windows 7/Vista/XP/2000/Server 2008/Server 2003 専用の形式です。4GB 以上のファイルも扱えます。

《FAT32 形式》
Windows と Mac OS のどちらでも使用できる形式ですが、4GB 以上のファイルを扱えません。

《Mac OS 拡張形式》
Macintosh 専用の形式です。4GB 以上のファイルも扱えます。Windows では使用できません。

	NTFS 形式	FAT32 形式	Mac OS 拡張形式
Windows 7/Vista/XP/2000、 Windows Server 2008/Server 2003	◎	○	×
Windows Me/98SE/98	×	○	×
Mac OS X 10.5 以降	△	○	◎
Mac OS X 10.4	△	○	◎
Mac OS X 10.3	△	○	◎
Mac OS X 10.2 以前	×	×	◎
Mac OS 9	×	▲	◎

◎：読み込み、書き込みとも可能です。
○：読み込み、書き込みとも可能です（**4GB 以上のファイルは扱えません**）。
△：読み込みのみ可能です。書き込みはできません。
▲：File Exchange が有効の場合のみ、読み込み、書き込みできます。また、2 バイトコード文字（全角文字）を使用すると、パソコンが停止したり、ファイルが正常にコピーできないことがあります。
×：使用できません（認識しません）

フォーマット時のご注意

● **フォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチを OFF にしたり、リセットしないでください。**

ディスクが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。ご注意ください。

● **フォーマットすると、ハードディスク内にあるデータは失われます。フォーマットする前に、ハードディスクの使用環境をもう一度よく確認してください。**

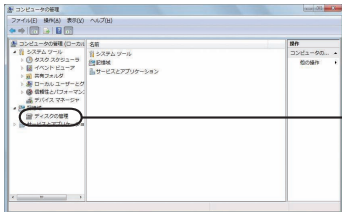
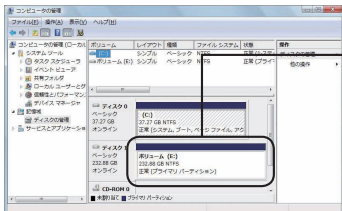
ハードディスクのフォーマットは、お客様ご自身の責任で行うものです。
誤って大切なデータやプログラムを削除しないように、フォーマットを実行するディスクが何台目のディスクか、パーティション名は何か必ず確認しておいてください。

次へ **使いかたによってフォーマット方法が異なります。次のページを参照してください。**

・ NTFS 形式でフォーマットされる場合 ……………………………【P 4 】
・ FAT32 形式でフォーマットされる場合 …………………………【P 9 】
・ Mac OS 拡張形式でフォーマットされる場合 ……………………【P11】

NTFS 形式でのフォーマット

本製品を NTFS 形式でフォーマットする手順を説明します。

⚠注意
- **Windows Me/98SE/98 や Mac OS をお使いの場合は、NTFS 形式でフォーマットできません。FAT32 形式や Mac OS 拡張形式でフォーマットしてください。**
- **本製品は、ダイナミックディスクにアップグレードすることはできません。**
  ※ダイナミックディスクについては、Windows のヘルプを参照してください。
- **ここでは、NTFS 形式でフォーマットする手順を説明します。FAT32 形式でフォーマットするときは、付属の Disk Formatter でフォーマットしてください。詳しい手順は、P9「FAT32 形式でのフォーマット」を参照してください。**

Windows 7/Vista/Server 2008

※ Windows XP/2000 の場合は、P8 の手順でフォーマットしてください。以下の手順でフォーマットすると、書き込み / 読み込み速度が遅くなることがあります。

1 **パソコンを起動し、コンピューターの管理者権限 (Administrator など) があるユーザーでログオンします。**

2 **［スタート］をクリック→［コンピュータ（マイコンピュータ)］を右クリック（Windows 2000 の場合は、デスクトップの [マイコンピュータ] を右クリック）し、［管理］をクリックします。**

※「次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」や「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、[はい] または［続行］をクリックしてください。

3

［ディスクの管理］をクリックします。

4

本製品に割り当てられているドライブを確認します。

※ドライブを間違えると、ハードディスク内のデータがすべて消えてしまいますので、ご注意ください。

⚠注意 **本製品に割り当てられたドライブが「未割り当て」と表示されている場合は、手順 8 へ進んでください。**

次のページへ続く

5

① 本製品に割り当てられている領域を右クリックします。

② [ボリュームの削除] をクリックします。

6

[はい] をクリックします。

7

未割り当て領域が表示されます。

8

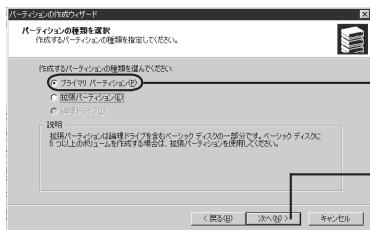
① 未割り当て領域を右クリックします。

② [新しいシンプルボリューム]をクリックします。

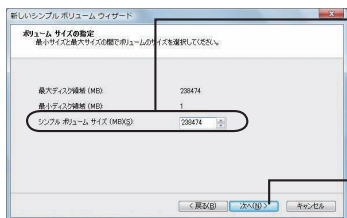
9

[次へ] をクリックします。

次のページへ続く

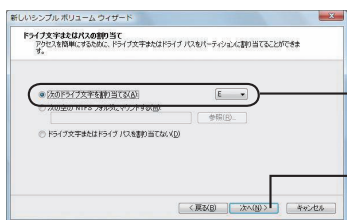
以下の画面が表示されたときは？

① ［プライマリ パーティション］をクリックして（・）を付けます。

② ［次へ］をクリックします。

10

① ［シンプルボリューム サイズ］（［パーティションサイズ］または［使用するディスク領域］）でサイズを指定します。

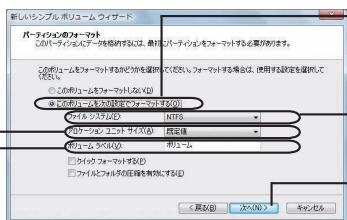
※ サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。

② ［次へ］をクリックします。

11

① ［次のドライブ文字を割り当てる］をクリックし、ドライブ文字を指定します。

※ 特に設定を変更する必要がなければ、初期設定のままにしてください。

② ［次へ］をクリックします。

12

① ［このボリューム（パーティション）を次（以下）の設定でフォーマットする］をクリックし、（・）を付けます。

② [NTFS] を選択します。

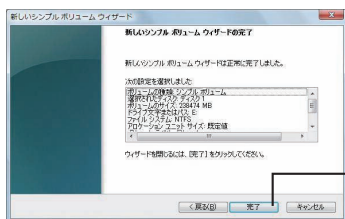
③ 各項目を設定したら、［次へ］をクリックします。

必要に応じて［ボリュームラベル］を入力します。

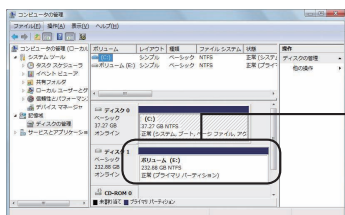
［アロケーションユニットサイズ］は特に問題のない限り、初期設定のまま使用します。

⚠注意 **本製品にパーティションが 1 つも存在しないときは、［クイックフォーマットする］にチェックマークを付けないでください。チェックマークを付けると、フォーマットが正常に終了できないことがあります。**

次のページへ続く

13

フォーマットが始まり、進行状況が%表示されます。

メモ フォーマットを中止する場合は、フォーマット中のパーティションを右クリックし、表示されたメニューの中の［フォーマットの中止］をクリックします。

14

フォーマットが正常に終了すると、ボリュームラベルとパーティションに加えて「正常」と表示されます。

「ボリュームは開かれているか、または使用中です。要求を完了できません。」というメッセージが表示された場合

パーティションは作成されていますが、フォーマットは完了していません。[OK]をクリックし、作成したパーティションを次の手順でフォーマットしてください。

1 作成したパーティションを右クリックして［フォーマット］を選択します。

2 必要に応じてボリュームラベルやファイルシステムを設定し、[OK］をクリックします。

⚠注意 **［クイックフォーマットする］にチェックマークを付けると、クイックフォーマットを行います。フォーマット時間が短縮されます。**

3 以降は画面のメッセージに従って操作します。

以上でフォーマットは完了です。

メモ 本製品を複数の領域に分割して使用するときは、手順 10 でサイズを指定し、以下手順 14 までを作成する数だけ繰り返します。

Windows XP/2000

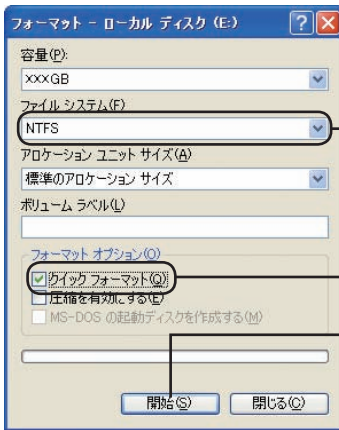
付属のフォーマットソフトウェア「DiskFormatter」で FAT32 形式でフォーマット後、本製品のアイコンを右クリックして NTFS 形式でフォーマットします。

⚠注意 必ず以下の手順でフォーマットを行ってください。OS の「ディスクの管理」を使ってフォーマットすると、本製品の書き込み / 読み込み速度が遅くなることがあります。

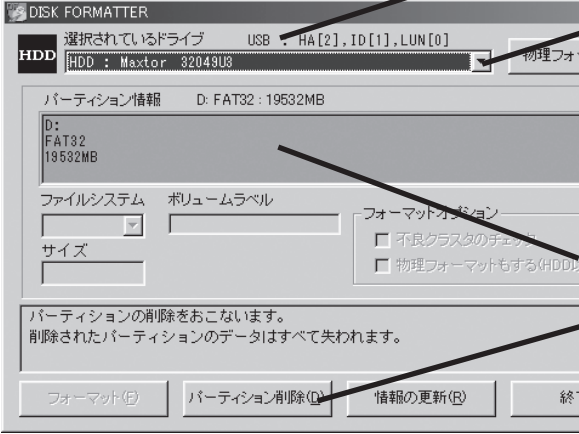
1 次ページ「FAT32形式でのフォーマット」の手順で本製品をFAT32形式でフォーマットします。

2 デスクトップの [マイコンピュータ] をダブルクリックします。

3 本製品のアイコンを右クリックし、[フォーマット] を選択します。

4

以降は、画面の指示に従ってフォーマットしてください。

FAT32形式でのフォーマット

⚠注意
- **Windowsパソコンでフォーマットしてください。Macintoshでフォーマットすると、正常にフォーマットできないことや、フォーマットするのに時間がかかる場合があります。**
- **付属ソフトウェア「Disk Formatter」でフォーマットしてください。Windows 7/Vista/XP/2000/Server 2003の機能（ディスクの管理）でフォーマットすると、32GB以上の領域をフォーマットできません。**
- **本製品に保存できる1ファイルの最大容量は、4GBとなります（FAT32形式の制限です）。**

Windowsパソコンで FAT32形式にフォーマットします。フォーマットには、付属ソフトウェア「Disk Formatter」を使用します。以下の作業を行う前に、Disk Formatterをインストールしてください。ここでは例として、本製品の出荷時状態から再度フォーマットする手順を説明します。

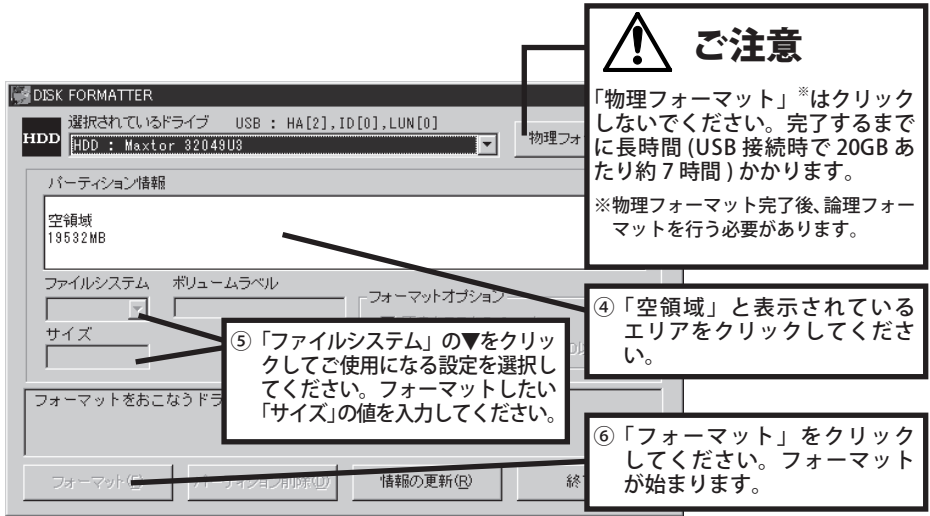
■フォーマットする

Windowsパソコンを起動し、本製品をパソコンに接続してください。

［スタート］－［（すべての）プログラム］－［BUFFALO］－［DISK FORMATTER］－［DISK FORMATTER］の順に選択し、Disk Formatterを起動します。

※ Disk Formatterをインストールされていない場合は、インストールを行ってから以下の手順へ進んでください。

パーティション情報に「空領域」が表示されたことを確認してください。「空領域」が表示されたら、次の手順に進みます。

次のページへ続く

「フォーマットは正常に終了しました」と表示されたら、［OK］をクリックし、いったん本製品をパソコンから取り外します（マニュアルに記載の手順に従って取り外してください）。
再度ケーブルを接続すると、フォーマットしたドライブが有効になります。

⚠注意 「ドライブが OS によりロックされています。」と表示されたときは？
画面の指示にしたがってパソコンを再起動するか、フォーマットするドライブを一旦取り外してから再度接続してください。パソコンの再起動後や、取り外したドライブを再接続した後は、正常にフォーマットできます。

⚠注意 137GB を超える容量のハードディスクをお使いの方へ
137GB を超える容量のハードディスクを Windows 98SE/98 にてご使用の場合、スキャンディスクを実行しようとするとエラーが発生します (Windows 98SE/98 の仕様です)。スキャンディスクを実行する場合は、1 パーティションのサイズを 130GB 以下に変更してご使用ください。

⚠注意
- **フォーマットするドライブを間違えないでください。**
- **FAT16 から FAT32 に変換する場合は、本製品をもう一度 FAT32 でフォーマットしてください。OS に付属の「ドライブコンバータ」で FAT16 から FAT32 に変換すると、エラーが発生し、FAT32 に変換できない場合があります。**

メモ
- 2047MB を超える容量を 1 つの領域として確保する場合は、［ファイルシステム］に［FAT32］を選択してください。［FAT16］では、1 つの領域は最大 2047MB となります。
- Disk Formatter に関する詳細は、「Disk Formatter ソフトウェアマニュアル 」（PDF ファイル）を参照してください。

Mac OS 拡張形式でのフォーマット

本製品を Mac OS 拡張形式でフォーマットする手順を説明します。Mac OS のバージョンによって、手順が異なります。お使いのバージョンの手順を参照してください。

⚠注意
- **Windows をお使いの場合は、Mac OS 拡張形式でフォーマットできません。NTFS 形式や FAT32 形式でフォーマットしてください。**
- **本製品を複数の領域に分けて使用できないことがあります。その場合は、領域を分けずにお使いください。**
- **詳しい手順は、Mac OS のヘルプを参照してください。**

Mac OS X 10.5 以降

1 **デスクトップの上のバーから［移動］－［アプリケーション］を選択します。**

2 **[ユーティリティ] フォルダを開きます。**

3

4

次のページへ続く

以上で本製品の初期化は完了です。ディスクユーティリティを終了してください。

メモ 「Time Machine でバックアップを作成するために "（ボリューム名）" を使用しますか？」と表示されることがあります。Time Machine を使用してパソコンのバックアップを本製品に保存する場合は [バックアップに使用] をクリックし、Time Machine を設定してください（P20）。Time Machine を使用しない場合は [キャンセル] をクリックしてください。

Mac OS X 10.3 ～ 10.4

1 **デスクトップにある起動ボリュームのアイコン （[Macintosh HD] など）をダブルクリックします。**

2 **[アプリケーション] フォルダの中の [ユーティリティ] フォルダを開きます。**

3

［ディスクユーティリティ］をダブルクリックします。
［ディスクユーティリティ］が起動します。

4

①フォーマットするディスクをクリックします。

②フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は製品によって異なります。

5

①［パーティション］をクリックします。

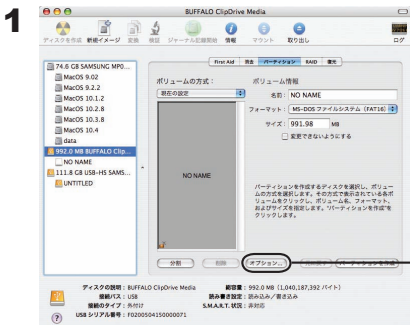
②ボリューム情報を設定します。フォーマットは通常、[Mac OS 拡張（ジャーナリング）] を選択してください。

③［パーティションを作成］をクリックします。

次のページへ続く

ボリューム情報を設定できないときは？（Mac OS X 10.4 以降のみ）

以下の手順で、パーティション方式を Apple パーティション方式に変更します。

1

2 Apple パーティション方式を選択します。
<Mac OS X 10.4.6 以降の画面 >

<Mac OS X 10.4.0 〜 10.4.5 の画面 >

6

以上で本製品のフォーマットは完了です。ディスクユーティリティを終了してください。

Mac OS X 10.0.4 ～ 10.2.8

Mac OS X の Disk Utility を使ってパーティションを作成し、本製品をフォーマットします。

1 **デスクトップにある起動ボリュームのアイコン（[Macintosh HD] など）をダブルクリックします。**

2 **[Applications] フォルダの中の [Utilities] フォルダを開きます。**

(Mac OS X 10.2 以降の場合は、［アプリケーション］フォルダの中の [ユーティリティ] フォルダを開きます。)

3 **［Disk Utility］をダブルクリックします。**

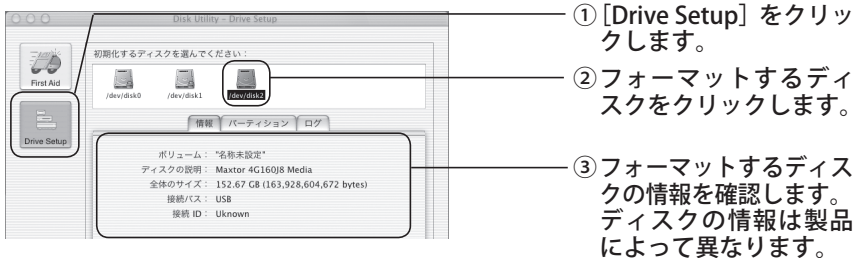
(Mac OS X 10.2 以降の場合は、［ディスクユーティリティ] をダブルクリックします。)

4

Mac OS 10.0.4 の画面

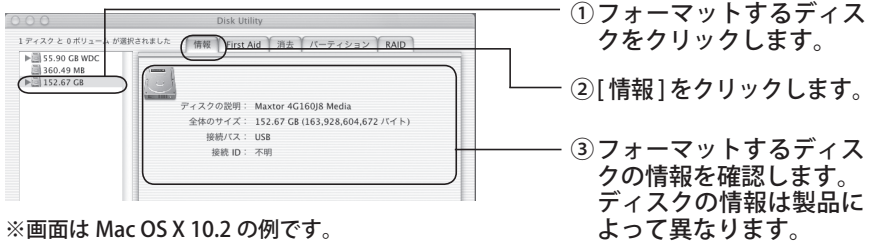
① ［Drive Setup］をクリックします。

② フォーマットするディスクをクリックします。

③ フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は製品によって異なります。

Mac OS X 10.1/10.2 以降の画面

※画面は Mac OS X 10.2 の例です。

① フォーマットするディスクをクリックします。

② [情報] をクリックします。

③ フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は製品によって異なります。

次のページへ続く

5 Mac OS X 10.0.4 の画面

①［パーティション］をクリックします。

②パーティション方式(作成するパーティションの数)を設定します。

③パーティション情報を設定します。フォーマットは通常、[Mac OS 拡張]を選択してください。

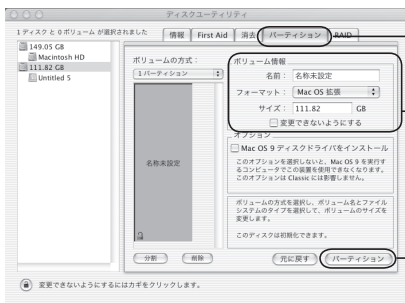
④［パーティション］をクリックします。

Mac OS X 10.1 の画面

①［パーティション］をクリックします。

②パーティション情報を設定します。フォーマットは通常、[Mac OS 拡張]を選択してください。

③［OK］をクリックします。

Mac OS X 10.2 以降の画面

①［パーティション］をクリックします。

②パーティション情報を設定します。フォーマットは通常、[Mac OS 拡張]を選択してください。

③［パーティション］をクリックします。

※ **設定したパーティションは、すべて一括でフォーマットされます。**
また、設定方法については、Mac OS のヘルプも参照してください。

6 「(略) この操作は取り消せません。この操作を実行してもよろしいですか？」と表示されたら、[パーティション] をクリックします。

以上で本製品のフォーマットは完了です。Disk Utility は終了してください。

Mac OS 9.1 ～ 9.2.2

本製品を MacOS 拡張フォーマットでフォーマットする手順を説明します。

⚠注意
- **フォーマット（初期化）するときは、必ず Mac OS のマニュアルを参照してください。**
- **Mac OS 9.1 ～ 9.2.2 では本製品を複数の領域に分けて使用することはできません。**

1 **[アップルメニュー] － [コントロールパネル] － [機能拡張マネージャ] をクリックします。**

2

3 **パソコンが再起動したら、本製品を接続します。**

「このディスクは、このコンピュータで読めません。ディスクを初期化しますか？」というメッセージが表示された場合

ディスクを初期化します。手順 6 へ進んでください。

4 **デスクトップ上にある本製品のディスクアイコンをクリックして選択します。**

5 **画面上部にあるメニューバーの [特別] をクリックし、[ディスクの初期化] をクリックします。**

6 **「名前」にドライブ名称を入力し、「フォーマット」に [Mac OS 拡張] を選択して [初期化] をクリックします。**

本製品の初期化が始まります。

7 **[アップルメニュー] － [コントロールパネル] － [機能拡張マネージャ] をクリックします。**

8 **「File Exchange」の左の [□] をクリックして [×] にし、[再起動] をクリックします。**

パソコンが再起動します。

以上でフォーマットは完了です。

2 メンテナンス

バックアップやエラーチェックなど日ごろのメンテナンスについて説明します。

バックアップ

バックアップの必要性

ハードディスクに蓄えられた重要なデータを保護するために、外部のメディアにデータの複製を作成することを「バックアップ」といいます。大容量ハードディスクには、日々大量のデータが格納されます。事故や人為的なミスなど不測の事態でデータを失うことは、業務上大きな損失となります。
バックアップを行えば、同じデータが複数のメディア（ハードディスクなど）に保存されます。そのため、万が一、1 つのメディアに保存したデータが破損・消失した場合でも、他のメディアから破損・消失したデータを復元することができます。

⚠注意 ハードディスクを使用する場合は、定期的にバックアップを作成してください。

メモ Mac OS X 10.5 以降には、「Time Machine」というバックアップ機能があります。Time Macine でバックアップ方法は、P20「Time Machine でバックアップする」を参照してください。

バックアップ用のメディア

バックアップ用のメディアには次のようなものがあります。

- Blu-ray ディスク
- HD DVD
- DVD-R/RW
- DVD+R/RW
- DVD-RAM
- CD-R/RW
- 光磁気ディスク（MO）
- 増設ハードディスク
- ネットワーク（LAN）サーバー

可能な限り DVD-R など容量の大きいメディアにバックアップすることをおすすめします。

増設ハードディスクにバックアップする場合は、そのハードディスクをバックアップ専用にすることをおすすめします。

メモ Windows98 付属のバックアップツールを使って、MO にデータをバックアップする場合、バックアップするファイル容量の合計が MO ディスクの空き容量を超えないようにしてください（Windows98 付属のバックアップツールの仕様です）。バックアップするときは必要なファイルだけを選択し、MO ディスクの空き容量に納まるようにしてください。

バックアップデータの復元（リストア）

バックアップデータを元のハードディスクに復元することをリストアといいます。

リストアコマンド／ツールは、一般的にバックアップコマンド／ツールで指定されたもの以外は使用できません。マニュアルなどで確認して使用してください。

ハードディスクのエラーチェック（スキャンディスク）

Windows や Mac OS Ｘ には、ハードディスクのエラー（異常）をチェックするためのツールが付属しています。このツールはエラーを修復することもできます。ハードディスクを安全に使用するために、ハードディスクを定期的にチェックすることをおすすめします。

メモ
- **エラーのチェック方法は、Windows や Mac OS Ｘ のヘルプやマニュアルを参照してください。**
- **Windows 98SE/98 にて 130GB 以上の本製品を出荷時状態でお使いの場合、スキャンディスクを実行しようとするとエラーが発生します (Windows 98SE/98 の仕様です)。スキャンディスクを実行する必要がある場合は、1 パーティションのサイズを 130GB 以下に変更してご使用ください。**
- **Mac OS 9 には、ハードディスクのエラーをチェックするためのツールは付属していません。ディスクのチェックには、市販のユーティリティを使用してください。**

ハードディスクの最適化（デフラグ）

ハードディスクを長期間使用してファイルの書き込みや削除を繰り返していると、ファイルが分断されてディスクのあちらこちらに散らばってしまいます。これを断片化（フラグメンテーション）といいます。断片化されたファイルは、読み書きする際にディスクのあちらこちらにアクセスしなくてはいけないため、時間がかかっています。

このように散らばってしまったファイルをきれいに並べなおすことを、最適化（デフラグメンテーション）といいます。ハードディスクを最適化すると、ディスクアクセスの速度が改善されます。

Windows には、断片化したハードディスクを最適化するためのツールが付属しています。ハードディスクを快適に使用するために、定期的にハードディスクを最適化することをおすすめします。

注意
- **SSD は構造上、断片化しても速度は低下しません。そのため、デフラグの必要はありません。**

メモ
- **最適化の方法は、Windows のヘルプやマニュアルを参照してください。**
- **Macintosh には、ハードディスクを最適化するためのツールは付属していません。ディスクの最適化には、市販のユーティリティーを使用してください。**

特定のソフトウェアが使用できない場合

パソコン標準搭載のハードディスクを対象にしたソフトウェア（※）上で、本製品を使用できないことがあります。
その場合は、パソコンに標準搭載のハードディスクを使用するか、他のソフトウェアを使用してください。

※ ソフトウェアの仕様はソフトウェアメーカー（プリインストールソフトウェアではパソコンメーカーの場合があります）にご確認ください。

Time Machine を使ってバックアップする（Mac OS X 10.5 以降のみ）

Mac OS X 10.5 以降に搭載されたバックアップ機能「Time Machine」を設定して、本製品にバックアップを作成する方法を説明します。

設定する前にご確認ください

Time Machine の設定を行う前に知っておいていただきたい注意事項を記載しています。設定を行う前にご確認ください。

●本製品を出荷時状態でお使いの場合や、Windows でも使用されていた場合は、Mac OS 拡張形式（ジャーナリング）で初期化してください。
FAT32 形式や NTFS 形式でフォーマットされたハードディスクを使用すると、Time Machine 設定時などにエラーが発生することがあります。Mac OS 拡張形式（ジャーナリング）で初期化してから設定を行ってください（P11 参照）。

●Time Machine 設定時、本製品に保存されたデータは消去されることがあります。
お使いの環境によっては、Time Machine の設定時に本製品が初期化されることがあります。Time Machine の設定を行う前に、本製品内のデータをバックアップすることをお勧めします。

●本製品は Time Machine 専用のハードディスクとして使用することをお勧めします。
本製品を Time Machine のバックアップディスクに設定した場合、本製品に保存されたデータはバックアップされません。また、Windows では使用できませんので、ご注意ください。

●Time Machine の設定後は、本製品の「Backups.backupdb」フォルダのデータを削除しないでください。
Time Machine でバックアップしたデータは、本製品の「Backups.backupdb」フォルダに保存されます。Time Machine で保存されたデータを削除した場合、バックアップを復元できないことがありますのでご注意ください。

●本製品を取り外しているときはバックアップできません。
Time Machine の設定すると、パソコンの使用中は定期的に本製品へバックアップを行います。本製品を取り外している間は、バックアップされませんのでご注意ください。

設定する

Time Machine の設定手順を説明します。

1 **アップルメニューから [システム環境設定] を選択します。**

2

[Time Machine] をダブルクリックします。

3

[バックアップディスクを選択] をクリックします。

4

①本製品を選択します。

②[バックアップに使用] をクリックします。

以下の画面が表示されたら？

本製品の初期化が必要です。[消去] をクリックして、画面に従って初期化してください。

⚠注意

- **本製品内のデータは全て消去されます。本製品内に必要なデータがある場合は、[消去] をクリックする前にバックアップしてください。**
- **「Time Machine のエラー」と表示された場合、本製品が Mac OS 拡張形式（ジャーナリング）で初期化されていない可能性があります。本製品を取り外した後、再度接続し、Mac OS 拡張形式（ジャーナリング）で初期化してください。初期化が完了したら、再度手順 1 からの手順を行ってください。**

5

以上で設定完了です。設定後、自動的にバックアップが始まります。
バックアップは、バックグラウンドでおこなわれるため、Mac OS の操作やシャットダウンなどは、通常通り行えます。
復旧を行う場合やバックアップから除外したい項目を設定する場合は、Mac OS のヘルプを参照してください。